

臨時総会

平成三十年度事業計画を決定

香川県商工会連合会



県商工会連合会は三月二十八日に臨時総会を開催し、平成三十年度事業計画及び収支予算など、五議案を可決した。

篠原会長は挨拶の中で、平成三十年度は「商工会の支援機能・組織力の強化」「事業者の経営計画等の策定支援の強化」を重点目標に掲げ、「提案型経営支援 巡回訪問・指導の推進」「経営発達支援

事業の推進」「経営計画策定・実行支援」「会員加入促進運動」を重点事業として取り組むと述べた。

また、安藤県商工労働部長は、「香川県では人口減少、海外展開への対策が重要視されるとともに、第四次産業革命と呼ばれるAIやIoTの対策を重点的に取り組むことで他県との差別化を図りたい。特にAI開発企業への支援、IoTによる効率性を目指す企業への支援をはじめ、二〇本以上の新規事業の実施により、県経済の発展を目指す。」と述べ、施策普及について商工会の更なる協力を求めた。

新年度の事業計画には、重点事業の他に若手職員の資質向上を図る「スーパーバイザー事業」、専門家による経営課題解決を図る「エキスパートバンク事業」「消費税軽減税率対応窓口相談等事業」「情報化推進事業」「婚活支援事業」など、

新任職員の紹介

よろしくお願ひします。



- 森川 博喜 (さぬき市商工会 経営指導員)
- 近藤大二郎 (丸亀市飯綾商工会 経営指導員)
- 関元 知恵 (小豆島町商工会 経営支援員)
- 米谷 彩 (三豊市商工会 経営支援員)

(写真左から)

新規採用 平成30年4月1日付

第188回

商工会珠算検定試験
1級合格者発表



平成30年2月18日(日)県下2商工会で全国商工会珠算検定試験が実施されました。

紙面の都合により、今回の検定試験1級合格者のみをご紹介します。

小豆島町商工会 若山 京峰